

令和6年度 横浜市ひかりが丘地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化に加え複合的な生活課題が山積する状況ではあるが、地域住民による主体的な見守り活動や支援が継続して行われている。絶対的なマンパワーの不足が顕著であり、高い専門性に基づく支援展開を図るために、様々な専門機関と連携を深め、より一層の福祉施策の拡充を目指す。

今年度の重点的な取組

新規		継続		—具体的な取組内容—
	■			5職種が、各事業において地域住民から寄せられる要望や、民生委員との連絡会などで出される意見、相談事例から抽出される課題などの情報を、部門ごとのミーティングや定例会議で集約する。集約した地域課題の解決のための方策を、関係機関とのカンファレンスや地域ケア会議などによって検討していく。また事業の企画に活用していく。
	■			コロナ禍を経て、地域福祉保健計画の地区別計画第4期の振返りを行い、区の支援チームと連携し、支えあい連絡会を通じて第五期計画の策定に向けた地域住民の取組を支援していく。
	■			押し買いによる被害が多数発生し、詐欺により多額の預貯金をだまし取られそうになった事例もあった。リフォームによる住み替えなどで隣近所の入れ替わりもあり、コミュニティの再編が必要になっている。防犯情報の提供や啓発活動を継続して実施し、見守りや気づきの充実につなげる。
	■			年齢を問わず誰もが参加しやすいゲーム(モルック等)を活用し、世代を超えて住民が交流できる場を提供することで、お互いに顔を合わせる機会を増やし、挨拶や声かけを行いやすい地域となるよう関係づくりを進める。
	■			住民のニーズに合致した新たな行事やセミナーを主催することで、ケアプラザ利用者の増加を図るとともに、ボランティアや認知症サポーターの養成講座を住民向けに開催し、地域における福祉保健活動への意識向上と、新たな担い手の発掘に努める。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和6年度横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	常に地域住民、利用者が自立した生活を営めるよう地域住民や利用者の主体性を尊重し、自らの意思で必要な社会資源やサービスを選び、決められるように支援する。できる限りの情報提供を行い、選択し自己決定できるよう最大限に配慮をする。	事故防止及び個人情報保護に関する研修を実施し、職員に対する周知及び対応力の向上を図る。特に個人情報の取り扱いについて、個人情報が含まれた文書をやむを得ずFAX送信する場合は、マニュアルに沿って、チェックシートを運用し、漏えい事故防止を図る。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	利用者本人が目標を理解したうえで、その達成のために必要なサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。	地域の方々が住み慣れた自宅で継続して暮らすことができるよう安心と信頼を提供する。利用者の意思を尊重し、持てる能力を発揮するかたちで自立した生活を営む事ができるよう計画を作成し、利用者自らが目標を達成できるように支援する。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	保健師1名、主任ケアマネジャー1名、社会福祉士1名、介護予防プランナー2名(専従1名、兼務1名)	ケアマネジャー2名(うち管理者兼務1名、介護予防プランナー兼務1名)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の生活機能及び生活意欲の維持・向上を図り、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援を行う。		
実施体制	【実施日数】週6日 【提供時間】9:00~16:10 【定員】30名【通所介護】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額</p>
<p>利用料金</p>	<p>【その他料金】 【通所介護】 ●1割負担分(7-8時間)1回分 要介護1:713円 要介護2:829円 要介護3:961円 要介護4:1,091円 要介護5:1,224円 ●その他利用料(1回分) 入浴介助加算Ⅰ:43円 中重度者ケア体制加算:48円 若年性認知症利用者受入加算:64円 サービス提供体制加算Ⅱ:19円 食費:750円 紙パット・紙パンツ50~100円 【第1号】 ●1割負担分(7-8時間)1ヶ月分 要支援1:1,792円 要支援2(週1回):1,792円 要支援2(週2回):3,674円 ●その他利用料(1ヶ月分) サービス提供体制加算Ⅱ(週1回:77円、週2回:154円) ●その他利用料(1回分) 食費:750円 紙パット・紙パンツ50~100円</p>	<p>【その他料金】</p>	<p>【その他料金】</p>
<p>職員体制</p>	<p>管理者兼相談員1名 相談員1名以上(介護職兼務含) 看護師4名 介護士14名(相談員兼務含) 厨房4名 ドライバー1名</p>		
<p>契約者数等</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>

令和6年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,372,494		16,372,494		16,372,494	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	4,046,000		4,046,000		4,046,000	
収入合計	20,418,494	0	20,418,494	0	20,418,494	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,096,494	0	12,096,494	0	12,096,494	法人本部経費は含まれていません。
本俸	8,000,000		8,000,000		8,000,000	
社会保険料	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
手当計	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
健康診断費	20,000		20,000		20,000	
勤労者福祉共済掛金	100,000		100,000		100,000	
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000		100,000	
その他	376,494		376,494		376,494	
事務費	2,045,000	0	2,045,000	0	2,045,000	法人本部経費は含まれていません。
旅費	20,000		20,000		20,000	
消耗品費	450,000		450,000		450,000	
会議明い費	20,000		20,000		20,000	
印刷製本費	150,000		150,000		150,000	
通信費	400,000		400,000		400,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	500,000		500,000		500,000	
図書購入費	30,000		30,000		30,000	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	100,000		100,000		100,000	
振込手数料	3,000		3,000		3,000	
リース料	20,000		20,000		20,000	
手数料	1,000		1,000		1,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	351,000		351,000		351,000	
事業費	550,000	0	550,000	0	550,000	法人本部経費は含まれていません。
運営協議会経費	10,000		10,000		10,000	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	500,000		500,000		500,000	
その他	40,000		40,000		40,000	
太陽光パネル保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光パネル保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕 (追加)	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕 (追加)	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施 (追加)	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施 (追加)	0	0	0	0	0	
管理費	5,253,000	0	5,253,000	0	5,253,000	法人本部経費は含まれていません。
光熱水費	4,450,000		4,450,000		4,450,000	
清掃費	35,000		35,000		35,000	
機械整備費	180,000		180,000		180,000	
設備保全費	580,000	0	580,000	0	580,000	
空調衛生設備保守	500,000		500,000		500,000	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000		30,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	50,000		50,000		50,000	
共益費	0		0		0	
その他	8,000		8,000		8,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていません。
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	法人本部経費は含まれていません。
支出合計	20,418,494	0	20,418,494	0	20,418,494	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	0	500,000
自主事業 収支	△ 500,000	0	△ 500,000	0	△ 500,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各々項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,393,173		24,393,173		24,393,173	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0		0		0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,937,404		5,937,404		5,937,404	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			290,000		290,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	290,000		290,000		290,000	
収入合計	30,774,577	0	30,774,577	0	30,774,577	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,511,577	0	24,511,577	0	24,511,577	法人本部経費は含まれていません。
本俸	14,500,000		14,500,000		14,500,000	
社会保険料	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
手当計	5,500,000		5,500,000		5,500,000	
健康診断費	0		0		0	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000		100,000	
その他	411,577		411,577		411,577	
事務費	3,402,000	0	3,402,000	0	3,402,000	法人本部経費は含まれていません。
旅費	100,000		100,000		100,000	
消耗品費	500,000		500,000		500,000	
会議購入費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	300,000		300,000		300,000	
通信費	100,000		100,000		100,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	800,000		800,000		800,000	
図書購入費	100,000		100,000		100,000	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	500,000		500,000		500,000	
振込手数料	2,000		2,000		2,000	
リース料	40,000		40,000		40,000	
手数料	100,000		100,000		100,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	850,000		850,000		850,000	
事業費	1,256,000	0	1,256,000	0	1,256,000	法人本部経費は含まれていません。
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	352,000		352,000		352,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0		0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	120,000		120,000		120,000	
その他			0		0	
管理費	1,479,000	0	1,479,000	0	1,479,000	法人本部経費は含まれていません。
光熱水費	1,260,000		1,260,000		1,260,000	
清掃費	10,000		10,000		10,000	
機械警備費	50,000		50,000		50,000	
設備保全費	153,000	0	153,000	0	153,000	
空調衛生設備保守	130,000		130,000		130,000	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	13,000		13,000		13,000	
共益費	0		0		0	
その他	6,000		6,000		6,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	法人本部経費は含まれていません。
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	法人本部経費は含まれていません。
支出合計	30,774,577	0	30,774,577	0	30,774,577	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	626,000	0	626,000	0	626,000
自主事業 収支	△ 626,000	0	△ 626,000	0	△ 626,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ

令和6年4月1日~令和7年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,000		3,000	6,000		6,000	14,000		14,000	100,000		100,000	4,000		4,000
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	その他	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	収入合計(A)	3,000	0	3,000	6,000	0	6,000	14,000	0	14,000	100,000	0	100,000	4,000	0	4,000
支出	人件費	1,000		1,000	2,500		2,500	13,000		13,000	75,000		75,000	2,000		2,000
	事務費	100		100	100		100	100		100	10,000		10,000	1,000		1,000
	事業費	100		100	200		200	100		100	15,000		15,000	1,000		1,000
	管理費	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	その他	1,800		1,800	3,200	0	3,200	800	0	800	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	消費税	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	介護予防プラン委託料	1,600		1,600	3,100		3,100	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
		0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	その他	200		200	100		100	800		800	0		0	0		0
	支出合計(B)	3,000	0	3,000	6,000	0	6,000	14,000	0	14,000	100,000	0	100,000	4,000	0	4,000
	収支 (A)-(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ひかりが丘介護者のつどい銀俱樂部	平成22年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者同士で、日ごろの介護にまつわる苦労や疑問等を相談・話し合い、息抜きやストレス解消、介護負担の軽減になるような場所づくり。	5:地域		西ひかりが丘商店街の喫茶カブカブにて、介護者・包括職員とでサロン形式で雑談する。毎月第二金曜日 14時～15時		
2	団地内民生委員懇談会	平成22年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の民生・児童委員とケアプラザ職員の情報交換・研修等実施による連携強化。	5:地域		市営・UR団地の民生・児童委員と地域交流、包括支援センター、居宅介護事業所のメンバーで情報交換・連携強化・研修等を行う。旭区高齢障害支援課の地区担当が参加することもある。勉強会の内容によっては外部講師を招くこともある。毎月第2金曜日		
3	団地外民生委員懇談会(上白根民生委員連絡会)	平成22年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	上白根町のうち、中原街道北側地区戸建てエリア担当民生委員との、情報交換実施による連携強化。	5:地域		市営・UR団地外の上白根地区担当の民生・児童委員(2委員)との情報交換や地域課題についての相談・検討の実施。連携・協力体制の強化。		
4	特殊詐欺啓発活動	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	多発しているオレオレ詐欺や還付金詐欺をはじめとする特殊詐欺の注意喚起、情報を提供し地域の高齢者へ注意喚起を行い被害の発生を未然に防いでいく。	1:高齢者	5	地域の高齢者の方を対象に、特殊詐欺の内容をメインに「あさひかわ版」の内容や警察からの緊急情報等を周知していく。		
5	認知症普及啓発「世界アルツハイマー月間」	令和4年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	アルツハイマーデーに合わせ、認知症に関する知識の普及啓発を実施し、認知症高齢者等への理解を得て、地域での見守りが効果的になされるようになる。	5:地域	1	・世界アルツハイマー月間を中心に、館内でののぼり(区役所から貸与)資料等の掲示。		
6	シニアライフセミナー	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	高齢期を迎えた本人または家族、支援者が終末期に向けてよい準備ができるように情報提供をする。安心して高齢期を過ごし、本人も家族も満足した形で人生の最期を迎えられることを目指す。	1:高齢者	5	田中司法書士を迎えてエンディングノートを紹介しながらノートに沿って終末期に必要な制度の紹介、説明を行う。必要時個別相談につなぐ。		
7	司法書士個別相談会	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	高齢期の相続、成年後見等の法律的門槛に関して司法書士に個別に無料相談できる機会を作る。	1:高齢者	5	田中司法書士事務所 田中司法書士を招いて相談会を実施。R5年7月から奇数月第2土曜日午前中1ケース30分で4件まで10時～12時の時間を確保する。		
8	熱中症予防出張講座	令和5年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	熱中症患者の増える夏季に向けて、地域高齢者が実践できる予防策を周知することで当事者意識を高め、正しい対処方法を学ぶことにより熱中症罹患を予防する。	1:高齢者	5	既存である大人の遊びバピバの場を活用することで、集客が期待できる。また普段からコミュニケーションに参加して身体を動かしている層に、物理療法のみならずアプローチをかけることで運動療法との相乗効果を狙う。		
9	GoGo健康体操	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防普及強化事業として、講師による健康体操指導を年24回開催	1:高齢者	5	地域の高齢者を対象に専門講師による体操指導や講話を通して、参加者の介護予防・認知症予防を図る。		
10	GOGO健康体操 口腔ケア講座	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が口腔ケアの知識を得ることにより要支援・要介護状態になることを予防する。	1:高齢者	5	GOGO健康体操に続けて口腔ケア講座をおこなうことで集客が期待できる。また体操と口腔衛生の両面からアプローチをかけることで相乗効果を狙う。		
11	GOGO健康体操 栄養講座	令和5年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が栄養バランスのとれた食事を摂ることにより要支援・要介護状態になることを予防する。	1:高齢者	5	GOGO健康体操に続けて栄養教室をおこなうことで集客が期待できる。また体操と栄養指導の両面からアプローチをかけることで相乗効果を狙う。		
12	URハマトレ体操	平成25年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1:高齢者	5	URハマトレ教室を主宰している保健活動委員の吉田様より依頼あり、共同事業としている。通常はハマトレの映像を見ながら体操を行う。年4回程度栄養教室や体力測定などの講座を組み込む。		
13	URハマトレ栄養教室	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が栄養バランスの取れた食事を摂ることにより要支援・要介護状態になることを予防する。	1:高齢者	5	URハマトレ体操に紐づけて栄養教室をおこなうことで集客が期待できる。また体操と栄養面の両面からアプローチをかけることで相乗効果を狙う。URハマトレ教室を主催している保健活動推進員より依頼があり共同事業としている。		
14	URハマトレ体力測定	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1:高齢者	5	URハマトレ体操の時間で体力測定を行うことで集客を期待。スポーツ協会から講師を呼ぶことで専門的な知識からのアプローチができ、意識の向上などの相乗効果を狙う。URハマトレ教室を主催している保健活動推進員より依頼があり共同事業としている。		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることを
 ねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
15	UR健康測定会	令和5年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で通いの場となっている公団集会所で健康測定会を実施し集客を図る。筋力低下予防のために現在の自身の状態を知る機会とする。顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1: 高齢者		身近で気軽に立ち寄ることのできる集会所で体力測定をおこなうことで集客を期待。旭区健康づくり係から専門の測定機器を借用し、体力を可視化することで強み・弱みを知ることにより、意識の向上などの相乗効果を狙う。URでの住民支援をしているアドバイザーより依頼があり共同事業としている。		
16	URハマトレ体操 体操指導	令和5年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者が要支援・要介護状態になることを予防する。身近な場所で定期的に体操することで筋力の低下を予防する。また顔見知りが増えることで、日常的に会話が増えたりお互いの見守りへと繋がっていく。	1: 高齢者		定期的に体操をする習慣となっているURハマトレ体操の時間に、外部講師を呼び、指導を受けることで専門的な知識からのアプローチができ、意識の向上などの相乗効果を狙う。		
17	URハマトレ コグニサイズ	令和6年度	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	西ひかりが丘団地にてハマトレに取り組んでいるグループの支援として、コグニサイズの講師を招く。普段とは異なるプログラムを採り入れることで、新規参加者の獲得をねらう。	1: 高齢者		コグニサイズフォローアップ講師派遣事業を活用し、専門の指導員を招くことで、プログラムの活性化をはかる。		
18	ひだまり	平成20年度	4: 共催(1と2)	1: 優先的に取り組み	地域の高齢者を対象にした介護予防サロン。健康講話、体操や合唱、脳トレを行いつつ、季節ごとの簡単な工作やテストによるプログラムを通して、外出・社会参加の場とする。	1: 高齢者		月に2回のサロンとして、第2水曜は太極拳と大正琴による伴奏の合唱、脳トレを行い、第4水曜は健康体操とピアノ伴奏による合唱、脳トレを行う。毎回、包括保健師による健康講話を行う。年に数回、朗読劇や紙芝居などのボランティアを招く。		
19	にこにこ会	平成18年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	精神障害の方の居場所作り	2: 障害児・者		会員同士で年間の計画をたて、食事会や外出の機会を設けることで社会性向上や日常生活に寄与する。旭区地域生活支援拠点ほっとぽっと「共に歩む市民の会」と情報を共有する。 ・毎月第4火曜日		
20	ひかりの会	平成18年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	脳血管障害による言語障害の方のための親睦サロン。	2: 障害児・者		月に一度仲間と親睦を深め、多少の言語リハビリも行うサロン活動。 ・毎月第4火曜日		
21	子どもの工作あそびクラブ	令和5年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の小学生3-6年生を対象に、様々なおもちゃ工作を通じて、創造して遊ぶ科学的興味を育てる。	4: 子ども・青少年		講師に青少年指導員の磯野さんを招き、紙にコーク作り、トリックアートづくりなどの工作を指導していただく。春・秋2回開催		
22	古典を学ぶ会	平成20年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	高齢や障害で他の方と接する機会の少ない方が、日本の古典を読むことを通じて、日常生活を捉えなおす機会を持ち、話し合う場として提供する。	1: 高齢者		講師のご住職の方による、今年度は引続き歌麩の購読など。 ・毎月第4木曜日		
23	囲碁教室	令和元年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	囲碁を通して高齢者・障害者等、地域の方の居場所作りを目指している。	2: 障害児・者	1.5	外出することが苦手な高齢男性や精神障害の方などを中心に年齢や障害のあるなしを問わず、囲碁を通して地域の方との交流の場所とする。ボランティアは福祉囲碁協会。 ・毎月第1・3木曜日、第2・4水曜日		
24	夏休み子どもクラブ	令和元年度	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	小学生対象の居場所作りとして始めたが、現在は夏休み中のお楽しみイベント(ダンス教室、クッキー教室、手芸教室など)としても恒例となっている。	4: 子ども・青少年		ヒップホップダンスのラルフさんによるダンス教室、カブカブさんのクッキー教室、キルトママさんによる手芸教室など 夏休み中に開催		
25	歌謡体操	平成25年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	健康体操を定期的に行う事で、転倒予防と交流の場をもつ機会を増やしていく。	5: 地域		カラオケ機械のライブDAMの歌謡体操を主に利用し、歌いながら体を動かしていきけるようにする。また、ライブDAMだけに捉われず楽しく続けられるようDVD(四季の歌)も取り入れ、参加者に自ら選択してメニューを組み立ていく自主性のきっかけとしていただく。 ・毎月第1・3木曜日		
26	みんなの庭	平成26年度	1: 地域活動交流事業	2: 発展させるねらい	園芸を通じた世代間交流。また、ボランティアとして参加して頂くことで、生き甲斐の一助となるような機会の提供。地域のあいさつ運動の一助となる活動。	5: 地域		ケアプラザの庭の一部を開放し、季節を感じられる花と緑を年に2~4回植え替え及び維持管理に参加していただく。子どもから高齢者までの地域の方全てを対象とする。		
27	楽しく健康！健康マージャン	平成29年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的とし、高齢者の居場所として開催。	1: 高齢者	1.5	麻雀を通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とすることを狙いとして開催。 ・第4金曜日		
28	大人の料理倶楽部	平成29年度	5: 共催(1と3)	2: 発展させるねらい	地域のボランティア発掘及びケアプラザを身近な存在として感じてもらうことを目的として開催。	5: 地域	1	お料理作りを通じて参加者同士の交流を図りながら、これまでケアプラザに来館されたことが無い方にとって福祉保健活動に関わる契機とする。 ・毎月第1・3金曜日		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
29	助け合いが当たり前プロジェクト	令和1年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	「よこはまシニアボランティアポイント」を通じて、高齢者が地域の介護施設等で活動する事で、ご自身の介護予防・社会参加を通じて「生きがい作り」を促進する為。また、ボランティア(支え合い)への理解を深める事で、地域共生社会へ向けての基盤を作る。	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイント登録研修会 ・不定期		
30	サンセット会	令和5年度	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	地域にお住まいの精神障害者の居場所づくり(にこにこ会とは異なる時間帯に設定)を行い、新たなボランティアを発掘する。	2:障害児・者		障がい当事者がボランティアと一緒に食事を作り食べるサロン。隔月1回		
31	ゆるっとウォーキングの会	令和5年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の高齢者や閉じこもりがちな男性などの外出のきっかけづくり。近隣の公園やウォーキングコースを散歩することで、季節の変化を意識しながら、健康維持のための体力向上をねらいとする。	1:高齢者		準備体操後、近隣の公園等へウォーキングし、周囲の自然探索をしながら交流を深める。年3回程度の遠出を参加者で企画し、その相談を含めて会の運営をみんなで担えるように進めていく。雨天時は多目的ホールで体操のあと、次回のウォーキングコース相談や地域の地理や歴史などをプロジェクトターを使ってYouTubeで鑑賞する時間とする。毎月第2土曜日		
32	歌うチャージング体操	令和5年度	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	上白根地区在住の講師による、高齢者向けの歌いながら行う高齢者のための運動『歌うチャージング体操』を開催することにより、新たな事業として地域に展開できるかをリサーチする。	1:高齢者		NPO法人チャージングライフサポート協会所属の上白根地区在住の講師を招き、自分らしく生きる「いきいき健康長寿」を目指す『歌うチャージング体操』を地域の高齢者に体験していただく。		
33	メロディーカフェ	令和5年度	1:高齢者	1:優先的に取り組み	ケアプラザで活動している音楽関係の団体に参加していただくことで活動の場を広げ、カブカブさんとのコラボレーションにより、障害のある方も、高齢者の方とも、共生するあたにかい地域の居場所づくりをおこなう。	1:高齢者	2.3.5	上白根地区で活動しているボランティアによる音楽演奏を中心に時宜になかったミニイベントをカブカブの喫茶を提供し、おしゃべりの場を提供する。		
34	あさひくんとアソボ体操による世代間交流	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ひかりが丘保育園の園児と一緒に、新たに作成された「あさひくんとアソボ体操」を地域の高齢者と一緒に、世代間交流を行う機会とする。地域の高齢者と幼児がイベントをきっかけにあいさつができるように、地域計画の一つである「あいさつ活動」に繋げる。	1:高齢者		新しい体操である「あさひくんとアソボ体操」をYouTube動画等をもとに、ケアプラザで地域の高齢者を対象に練習を行い、後日、保育園と日程を調整して園庭を訪ね、練習会参加者と園児が一緒に体操を行うイベントを開催する。		
35	ひかり福祉フェスタ(ひかり健康応援フェスタ)	令和1年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の福祉・障害に関わる団体の連携を強める。恒例行事を行うことでケアプラザへの関心を高め、利用をしやすいとする狙い。	6:事業者		グループがバザーや催しを通じて地域との連携を深める。実行委員会(カブカブ他)と共催、包括では介護予防の啓発、地域交流では催しものや事前準備のためのボランティアをコーディネート(引き続き来場者のための記念品を作成するボランティアが事前にも活動を実施)。 ・年1回(11月)		
36	食品衛生講習会	令和1年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域で食事ボランティア活動に従事されている方々を中心に、食事提供における食中毒予防のポイントを理解していただく。	5:地域		日頃から高齢者食事サービス・サロンなどで食事提供のボランティアをされている方の活動において、食事による事故を予防するための食品衛生講習会を実施。 ・年1回(7月)		
37	地域貢献デー	令和1年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域の県立高校のイベントを利用して老人会の皆さんと公園清掃を行い、親睦の場とする。	4:子ども・青少年		地域の県立高校のイベントを利用して老人会の皆さんと公園清掃を行い、親睦の場とする。		
38	ボランティア講演会	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域の県立高校で開催されるボランティア講演会に出席して、ケアプラザの動きを紹介し、上白根地区においてボランティアの啓発及び発掘を行う。	4:子ども・青少年		横浜陵南高校で毎年3月に開催されるボランティア講演会でのケアプラザの活動紹介とボランティア団体の紹介を行い、先生と連携を取りつつ、地域でのボランティア活動への生徒を繋ぐ。		
39	四季の森小 総合学習	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	四季の森小2年生・4年生の総合学習に沿って、地域にあるケアプラザについて紹介し、利用している住民との多世代交流を行う	4:子ども・青少年		小学校の先生の依頼を受け、都度学習内容に沿ったプログラムを準備し提供する。年2回から3回開催		
40	四季の森小学校 福祉教育	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がい者と交流し、学ぶことで、障がいを持った方への接し方を知る機会を作る。さらに、車椅子など福祉用具の扱い方を学ぶ場を提供する。	4:子ども・青少年		ケアプラザを利用される障害者の方や、福祉用具の事業者に依頼し、小学校と連携して福祉教育の授業を提供する。 年1回開催		
41	いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるプロジェクト	平成17年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	「地域共生社会」に向け、「誰もがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らす」この目標に対し日本全体で課題となっている高齢化に伴い、認知症の方々と地域に関わる事が多くなっている。認知症サポーター養成講座を受講して頂く事で、認知症への理解を深め、気付き、関係機関と連携できる体制整備を進める。	5:地域		認知症サポーター養成講座 ・不定期		
42	貸館団体登録説明会	令和5年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザ貸館利用登録の方法と理由に置いての注意点・留意点を利用団体に理解してもらう。	1:高齢者		ケアプラザ貸館利用の団体登録の説明、利用についての注意点・留意点の説明、災害時の避難経路の確認及び、ケアプラザが福祉避難所であることの説明 年2回開催		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
43	ボランティア交流会	令和4年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	ボランティアの育成、介護予防普及強化、ボランティア間の交流	5：地域		令和6年度のケアプラザ他でのボランティア活動の紹介及び報告による交流と包括担当看護師による介護予防講話、ボランティア同士によるグループワークによる地域支援の啓発 3月第1日曜日に開催		
44	ひかり卓球部	令和3年度	3：生活支援体制整備事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者に無理なく行える運動として卓球を楽しんでいただくことで、体力の維持を図る。また交流や仲間づくりの場としても機能することで、広く地域福祉に貢献する。	1：高齢者		卓球ゲーム（5分または10分毎の交代）と参加者同士の懇談。		
45	オトナの遊ビバ・学ビバ	令和5年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	昔遊び倶楽部を自主事業に戻し、内容を新たにスタートさせる。従来の制作活動も残しつつ、より幅広いプログラムで、高齢者の生活を豊かにする為の遊びと学びの機会を提供し、介護予防につなげる。	1：高齢者		月替わりでの企画を立案。包括のとの連携に加え、外部からの出張講座も活用し、高齢者の通いの場を運営。		
46	モルック体験会	令和6年度	7：共催（1と2と4）	2：優先的に取り組み	モルックのゲームを通じて、地域の高齢者に運動と交流の場を提供するとともに、児童と一緒に遊ぶことで世代を超えた関係づくりにつなげる。	1：高齢者		自治会、保健活動推進員、スポーツ活動推進委員、放課後キッズクラブ等、地域内で役割を担う多様な主体と連携し、幅広い住民の方にゲームを体験してもらい、自主的なサークルづくりを支援する。		
47	旭ふれあい区民まつり 行政・PRコーナー出展	平成24年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域ケアプラザについてブース来場者に知っていただくための機会とする。	5：地域		・パネル展示 ・地区別計画及びケアプラザ広報紙の配布 ・ミニゲーム企画 ・啓発グッズ配布		